1
January 2017
No.727

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 年頭所感（会長　浦田 健二）……3
- 年頭所感（日歯会長　堀 憲郎）……4
- 特集　熊本地震⑧……5
- 理事会報告 ……8
- 年男・年女インタビュー ……10
- 委員会報告 ……13
  （厚生・医療管理、医療対策、社会保険、学術）
- 会員投稿 ……18
- 新企画 リレー投稿 ……21
- 郡市会報告 ……22
  （熊本市、天草郡市、阿蘇郡市）
- お知らせ（平成28年度臨時代議員会）……23
- 訃報 ……24
- つどい ……25
  （剣道、ボウリング）
- 会務報告 ……27

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

明けましておめでとうございます

４回目の年男だった平成28年…生涯忘れられぬ出来事を数多く経験し、そして迎えた平成29年。

奇しくも今年は酉年。「鳥」と言えば「復活、復興」の代名詞に例えられる「フェニックス（不死鳥）」にあやかり、今年一年、飛躍の一年になるよう仕事、プライベートに精進いたしましょう！　（元広報メロス／S・T）

年頭所感

熊本県歯科医師会会長　浦　田　健　二

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新たな年を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は、４月に震度７を二回経験する史上初の地震が発生し、６月の豪雨、10月の阿蘇山の爆発的噴火、その後も現在まで4000回を超える余震が続き、本当に大変な、災害の一年でした。何よりも熊本地震では200名を超える会員の皆様が何らかの被害を受け、全会員の約四分の一という前代未聞の大地震でした。しかし発災当初より役職員を始め多くの会員の皆様に御協力頂きスムーズな震災対応が出来ました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。本当に有難うございました。又全国からの温かい励ましや御支援を頂き歯科医師会の有難味を改めて感じる事が出来た一年でもありました。

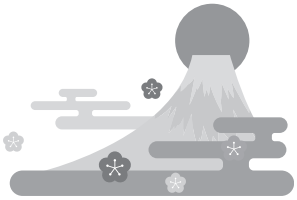
日本歯科医師会並びに都道府県歯科医師会等、様々な皆様のおかげを持ちまして何とか乗り越える事が出来たのではないかと思っております。現在会員の皆様の復旧、復興に向けて、熊本県歯科医師会一丸となって取り組んでおりますが、まだまだ道半ばであり一日も早い復旧に向けて全力で進めていきたいと思っております。今年もどうか宜しくお願い致します。

本年は、明治40年６月12日に熊本県歯科医師会が設立して110年というおめでたい年を迎えます。震災もあり、又まだまだ熊本自体が復旧、復興していない中でどう対応するか悩みましたが、多くの皆様より、こういう時期だからこそ開催するべきだとの御意見を頂きました。御支援して頂いた皆様に、御礼と熊本の今を見て頂くためにも開催する事と致しました。５月20日土曜日に創立110周年記念式典・講演会・祝賀会を予定しております。多くの会員の皆様に御参加頂き熊本の元気を発信したいと思いますので宜しくお願い致します。

また今年は、熊本地震からの復旧と共に2025年に向けての日本、そして地域の医療政策を左右する大事な地域医療構想が決定される年でもあります。地域医療の中で我々歯科医師会が、第一優先課題と位置付ける医科歯科医療連携を益々進めて、健康寿命の延伸への貢献が出来るよう対応していきたいと思います。そして熊本の将来を少しでも明るいものに出来ればと望んでおります。

最後に成りますが、地震を経験し熊本県歯科医師会が益々ひとつになれたのではないかと感じております、皆さんと力を合わせて少しでも早く熊本の復興が成るように、そして会員の皆様にとって今年が素晴らしい一年に成る事を祈念申し上げまして、新年の御挨拶とさせて頂きます。

年頭所感



公益社団法人　日本歯科医師会会長　堀　憲郎

明けましておめでとうございます。全国の会員の皆様、また歯科関係者の皆様が、健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、約10カ月前の昨年３月に新しい執行部が出帆いたしました。混乱の中で多くの政策課題を背負っての船出であり、休む間もなく10カ月が過ぎて新年を迎えたと振り返ります。全国の皆様の力強いご支援に支えられて、課題への取り組みは当初の予想を超えて進んでいると実感しています。

国において「伸び続ける医療費をどうするか」という議論が生ずる中、歯科の概算医療費だけは平成14年から８年間で570億円減少するという危機的状況がありましたが、直近の平成23年度から27年度までの５年間では一度もマイナストレンドに転じず、2400億円増加しました。数字的には極めて僅かでかつ極めて緩やかな伸びであり、今の国の財政状況の厳しさを見ると、再びマイナストレンドに転じる懸念もありますが、過去10年にわたり、歯科界が危機意識を共有し、一丸となって内外に発信してきた歯科医療の有用性、重要性がようやく理解されつつある結果と認識します。僅かではありますが、この兆しをさらに増幅し安定させ、次世代に引き継ぐことが我々の世代の責任と位置づけて、執行部発足以来、対応を進めてきたところです。

執行部発足当初に掲げていた政策課題は「地域へシフトする医療政策への対応」「超高齢社会における歯科医療の位置づけ」「歯科界全体の活性化」等が主たるものでしたが、これらの実行のための具体的な課題を28項目にまとめ、執行部の総力を挙げて取り組んで参りました。具体的な課題としては、公益社団法人としての在り方に関わる「倫理規程等の整備」、長寿社会の疾病構造をカバーする「歯科の新しい病名の検討」、「歯科活性化会議の設置」、「平成30年度の同時改定への対応」等があり、すでに28課題の中で、所期の目的を達成した課題が５つ、新たに追加した課題が５つとなっています。改めてハードルの高さを再認識した議論も少なからずありますが、然るべき時期に、しっかりと再整理をして次のステップへ歩みを進めたいと思っています。

28の課題を含め、やるべきことは数多くあり、限られた時間とマンパワーで、どこまで効率良く事業展開できるかが大きなポイントになります。本年も昨年に引き続き、取り組むべき課題を明確に整理し、「誰が」「いつまでに」「どのような方法で」実施するのかを明らかにし、日歯、都道府県歯そして会員の皆様、関係団体の皆様が目標を共有しつつ、スクラムを組んで前進する明るい年になるよう精一杯努力いたします。

現執行部を承認いただいた昨年３月の代議員会でお示しした決意の中で、「医療提供者の一員として常に大義と誇りを持って振る舞い、全ての歯科医療に従事する方々が胸を張って仕事ができる環境づくりを目指して責任を果たす強い歯科医師会をつくりたい」と申し上げました。ただ単に歯科のことだけを語る組織ではなく、常に国民、患者の健康と生活を守るという立場で、社会保障と医療全体を論じる組織を目指すとの思いを胸に、本年も着実に力強く前進して参ります。

特集 熊本地震⑧

熊本地震における避難所での児童生徒への支援（歯科支援活動を通して）

※「平成28年度版　学校保健の動向」Ｐ１～４に掲載

副会長　宮坂 圭太

被災状況

平成28年４月14日の前震、16日未明にも震度７の本震が発生した熊本地震は、81名の死者、１名の行方不明者、地震による重軽傷者1,959名の被害者と161,319棟の家屋の被害をだした。被害が激しかった益城町や南阿蘇村、西原村などでは、仮設住宅への入居が進んでいるが、多くの方々が今もなお町内の体育館や福祉センターの狭いスペースの中で避難生活を続けている。発災後３カ月半が経過してもなお余震が続き、その回数は1,929回に及んでおり、被災者は未だ不安な日々を過ごしている。（７月29日現在）

指定避難所としての学校

熊本城の崩壊で知られるように、熊本市中心部の被害も大きく、前震の４月15日夜から、熊本市内の多数の小中学校が指定避難所となった。教室、体育館でも足を伸ばすスペースもないくらいの避難者で溢れ、運動場は車中泊の車で一杯となった。指定避難所でも初日は一家族にパン一個という配給状態で子供たちも空腹と余震の恐怖で眠れない日が続いた。熊本市内ではライフラインが復旧するにつれ徐々に避難者数も減少した。高等学校の避難所（指定外避難所）は物資や食料も不足し、届かないといった混乱も生じた。避難所の管理にあたった学校教職員や役所の皆さんのご苦労は計り知れない。学校に養護教諭という健康に関する知識のある人材がいることが重要であった。（写真①）

①体育館のステージいっぱいの支援物資

避難所における児童生徒の状況

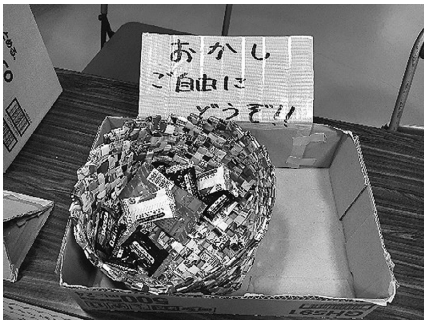
熊本地震では交通の復旧が早く、発災から官民一体となり、３日程度で物資が行き届くようになってきた。しかしトイレや手洗い場所、洗口や洗面場所の数が足りず、また水が不足していることから、当然のこと歯みがきや身体清拭は後回しになったようだった。（写真②）

②避難所では水不足とともに洗面所不足

避難所は開け放しであるため体育館では運動場からの砂ぼこりも入り、のどがカラカラになるといった声も聞かれた。布団を敷き詰めただけの避難所では埃っぽく、プライバシーも守れない状態であった。避難所生活２週間になると、保護者は住宅の被害判定や後片付けに忙しく、児童生徒だけで避難所にいることが多くなった。若いボランティアと一緒に行動したり遊んでもらったりしていたが、運動場も体育館も使用できない状況が続いていた。ダンボール箱のうえでの勉強や夜10時消灯朝７時起床という集団生活にはなじめない子供も随分居たようだ。避難所では朝のラジオ体操が日課であるが、高校生くらいになると積極的な参加は少なかった。（写真③）

③避難所での体操風景

その頃、避難所に駐在する保健師や巡回する歯科医師、歯科衛生士から「お菓子の支援物資が多すぎて、食べ放題でむし歯の発生が心配です。」という声があがってきた。（写真④）



④お菓子は自由に食べ放題

実際、休校で部活もなく、発災直後には勉強道具を持ち出すこともままならず、避難所にはテレビもなく運動もできずに、みんなでゲームをしながら、お菓子を食べているという状況に幾度となく遭遇することになった。生活習慣の乱れが重要な問題となってきた。

避難所での歯科支援活動

支援活動において早くから、高齢者と子供たちへの支援は充実させるように指示されていた。歯科医療の提供は発災直後から県歯科医師会員を中心に行われ、ぐらぐらの乳歯を抜いたり、はずれた詰め物の手当も避難所で実施した。県歯科医師会は「災害・避難所生活でもむし歯にも負けない」という、子供向けのポスター（一般社団小児歯科学会提供）を貼り、支援物資で届いたうがい薬やキシリトールガムの手渡し配布を行い、食後の口腔ケアの指導と砂糖消費量を抑える作戦に出た。避難所管理者（役場職員など）のご理解を得て、現場保健師からのリクエストで子供たちに歯科保健指導を実施した地区もあった。具体的には避難所でアナウンスしていただき生徒児童、高校生にも参加してもらい、ボランティア団体と一緒に１．むし歯の原因　２．お菓子のとり方　３．正しい歯のみがき方などの指導を模型や絵の媒体を使用して行った。（写真⑤）幼児、低学年児童には仕上げ磨きを保護者に代わり、支援スタッフが実施した。（写真⑥⑦）被災地区歯科医院の復旧は予想外に早く、避難所における歯科医療支援は５月22日で終了したが、歯科保健支援は仮設住宅入居まで続くことになる。

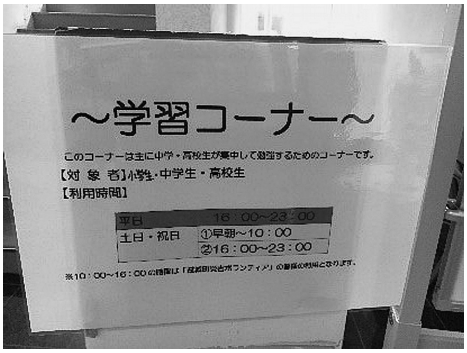
⑤避難所での歯科保健指導

⑥幼児への寝かせ磨き

⑦児童生徒への仕上げ磨き

学校の再開

発災３週間くらいから、学校が再開されると、体育館や運動場の使用に制限があっても生活のリズムをとり戻すことができるようになった。避難所の混雑が少し解消され、避難所の空きスペースに狭いながらも、小さい机と電器スタンドが設置され学習コーナーが出来た。（写真⑧⑨）



⑧避難所にも学習コーナーが出来た

⑨狭い机とスタンド、扇風機

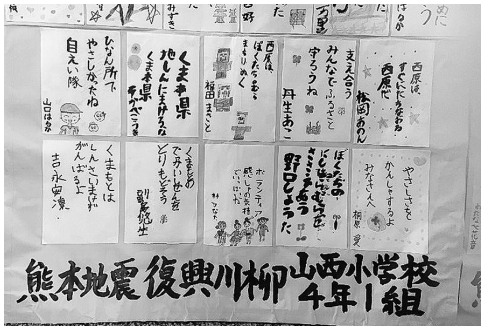
しかし土曜日曜も自宅の片付けなどで保護者は忙しく、外で遊ぶこともなく避難所にいる子供が多く見られたが、ボランティアの主催する輪投げゲームや体操に興ずる姿も微笑ましかった。避難所では児童生徒による自発的なボランティアが行われ、高齢者とのふれあいに笑顔が見られた。高校生などは積極的に支援物資の仕分けなどを手伝う姿が見られた。(写真⑩)

⑩支援物資を運ぶ高校生ボランティア

芸能人やスポーツ選手の訪問で笑顔が少しずつ見られるようになったのも事実である。発災３ヶ月がたったある日、避難所玄関に小学校４年生の復興川柳なるものが掲げられた。(写真⑪)

「パパやママ守ってくれて　ありがとう」
「ひなん所でやさしかったね　自えい隊」
「支え合う　みんなでふるさと守ろうね」

ひとりひとりの川柳は感謝と前向きの言葉に溢れていた。子供たちが元気になると、大人も頑張れるような気持ちになれる。

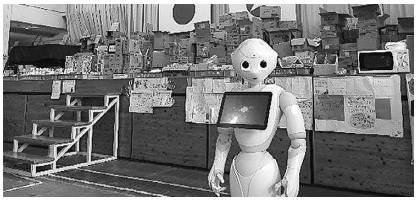


⑪小学生が書いた復興川柳

さいごに

震災後、歯科の学校検診が実施されたが、生活習慣の乱れが原因とみられる「歯肉炎」が昨年より多かったと、被災地の学校歯科医が口にしている。学校現場がまだまだ混乱しているため正確なデータはいずれ提供することになるが、検診後の事後措置としてのブラッシング等の歯科保健指導を徹底するように学校歯科医にお願いしているところである。

地震後、夜泣きする子供を抱え避難所に迷惑だとテント暮らしをする家族をみると涙が止まらなかった。うちの子は携帯ゲーム依存性になったとか、親のそばを離れなくなり、夜トイレに行けなくなったとか、被災者の声に耳を傾けると、今後の継続的な専門家の心のケア支援が最も重要だと思われる。７月になり避難者数が激減すると、心のケア用であろうかロボットが避難所に配備された。(写真⑫)



⑫心のケア用のロボットだろうか？

８月中には仮設住宅入居が完了することになる予定であるが、まだまだいろんな支援が必要だと思われる。復興川柳を見てわかるように、熊本の子供たちが元気になることが本当の復興と考えられる、絶対に熊本の児童生徒は負けないと信じている。まだまだ支援は続きますが、この場を借りて全国の支援に感謝するとともに、支援は物だけじゃなく人であることをしみじみ感じることが出来た。微笑ましいくまモンの給水器がどこの避難所にも設置されていた。(写真⑬)

⑬くまモン給水器

理事会報告

地震対応に対して知事から感謝状を受ける

― 第19回理事会 ―

11月24日（木）午後７時より県歯会館において、浦田会長他中嶋副会長を除く全役員、伊藤学院長の出席のもと開催された。

１．開会：宮坂副会長
２．挨拶：浦田会長

だいぶ寒くなって参りました。皆さんも充分体調には留意して頑張っていただきたいと思います。11月16日県庁におきまして、蒲島知事より今回の地震に対する感謝状贈呈式がありました。200ほどの団体が感謝状を受けました。本会だけでなく日本歯科医師会も感謝状を受けております。地震対応に対しては様々な先生方にご協力いただいて迅速な対応ができたということで本当にありがとうございます。全国各地でもこの災害を受けて災害に対応すべく検討が進められております。その中で熊本での状況を教えて頂きたいとの要望もたくさん頂いております。いま報告書を作成していただいております。大変だとは思いますがよろしくお願いいたします。それから、中小企業等グループ補助金事業も11月１日、二次公募の一次募集として熊本県歯科医師会が提出しておりました分が認可を受けました。グループに入られた会員の先生方が申請書を提出して復旧を行い、それに対して補助金が支払われることになると思います。ユース会計社に非常にお世話になりまして、費用も歯科医師会で負担するということに決定しましたので、さらに手続きも進むと思われます。先日、県健康福祉部との懇談の中で三次公募の話も出ておりました。歯科医師会としても募集の対応は考えておりますが、三次公募で歯科医師会としての対応は打ち切らせていただきたいと考えております。考えますと地震対応、大雨対応など災害対応ばかりでご自身の事業への対応は足が付かない状態だったかも知れません。12月あと１ヶ月で今年も終わりますが、先生方の対応に感謝申し上げまして開会の挨拶とさせていただきます。

３．議長選出：浦田会長
４．議事録署名人：久々山監事、西野監事
５．平成28年度会務報告：
（自：10月24日～至：11月20日）
本会総務：理事会、常務理事会
医療対策：医療相談・苦情事例報告
センター・介護：障がい者歯科診療、第12回福岡摂食嚥下障害サポート研修会
厚生・医療管理：第18回日本歯科医療管理学会九州支部総会・学術大会
以上、各担当役員より報告がなされた。
６．報告事項：
１．表彰
・叙勲　旭日双光章　牧野 敬美　会員（熊本市）　11月３日付
拝謁…11月11日（金）　場所：皇居宮殿
２．退会会員
・長 繁生　会員（第１種/玉名郡市）
10月31日付　福岡県へ異動のため
３．チームくまもとに対する要望書
自民党県連へ提出した。
４．くまもとスマートライフプロジェクト
熊日広告社が委託実施する健康づくりに関する広報事業、歯と口腔ケアをテーマとした健康づくりモデル事業、健康ポイントマイレージ事業に参加協力する。
５．荒尾市における認知症コホート研究調査
研究調査に協力し、学院所有のＷＨＯプローブを貸し出す。

6．妊婦歯科健診
今年度の熊本型早産予防事業に係る妊婦歯科健診料については、実施する市町村に対し県が半額を補助することとなった。
7．り災証明書による会員被災状況
10月28日現在の熊本地震における会員診療所及び自宅の被災状況について報告がなされた。
8．平成28年熊本地震への義援金募金状況
11月24日現在の義援金の現況について報告がなされた。
9．第69回九州歯科医学大会参加者及び厚生行事大会結果
福岡県で開催されたボウリング、ゴルフ、テニス、囲碁、俳句、野球、剣道の試合結果について報告がなされた。
10．会計10月末現況
11．その他
・熊日新聞に掲載された歯周病と食道がんとの関連記事が紹介され、その記事を広報するために待合室等へ掲示するよう出席者に要請があった。

7．連絡事項：
1．11月行事予定

8．承認事項：
1．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼〔承認〕
・県国民健康保険運営検討会議委員／県国保・高齢者医療課
田上 大輔　常務理事　任期：承諾の日～県国民健康保険運営協議会設置の日の前日
・県医療費適正化計画検討委員会委員／県国保・高齢者医療課
椿 誠　理事　任期：依頼の日～2年間
2．名義後援使用依頼〔承認〕
・県歯科衛生士会第8回県民公開講座／県歯科衛生士会
・日中保健・医療・福祉フォーラム／日中保健・医療・福祉フォーラム実行委員会

9．議題：
1．新型インフルエンザ等対策訓練の実施〔承認〕
実施することを承認した。
2．平成29年度総務の事業計画(案)〔承認〕
事業計画案を承認した。
3．名古屋大学大学院医学系研究科による歯科医師健康白書調査依頼〔承認〕
10年後調査に協力することを承認した。
4．くまモンバッジの再作成
くまモンバッジの在庫がなくなり、再作成を申請したが、現デザインでは熊本県（くまもとブランド推進課）の承諾を得られず、新デザインで作成する方向で検討する。
5．平成28年度臨時代議員会の日程（案）〔承認〕
日程案を承認した。
6．第2回各郡市会長・専務理事連絡会議の報告・協議〔承認〕
日程について承認し、協議内容等詳細は今後検討することとした。
7．平成29年度各委員会の事業計画並びに予算（案）
監事からの指摘により各委員会の事業計画、予算については、平成28年度事業内容等を検証し、改善したものを再提出することとした。
8．平成28年度熊本県委託（補助）事業に係る予算〔承認〕
歯科衛生士リカバリー研修事業の予算について承認した。
9．熊本地震見舞金・義援金の一人当たりの支給額及び使途〔承認〕
診療所、自宅を対象に全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊に区分し、定めた見舞金支給額を承認し、申請を受理した被災会員へ送金することとした。
10．被災会員への熊本地震見舞金の支給通知〔承認〕
支給額を明示した文書を承認し、申請を受理した被災会員へ通知することとした。
11．中小企業等グループ補助金申請に伴う代行手数料無料通知〔承認〕
補助金申請に係る事務手数料として、代行会社に支払う費用は、本会が負担する旨の通知を承認し、12月発送にて全会員に報告することとした。
12．講演会案内の掲載、郵便物同封等の基準見直し〔承認〕
現行基準を見直し、提出された2つの案より1つの案を選択し承認した。
なお、関連する定期便同封物取扱い内規を見直すことを含めて再検討する。
13．マイナンバーの取扱い事務〔承認〕
マイナンバー取得手順を承認し、対象者宛情報提供依頼の準備を進めることとした。

10．協議事項：
11．監事講評：
12．閉会：宮坂副会長

（広報　竹下 憲治）

年男・年女インタビュー

①氏名（敬称略）
②生年月日
③今年の抱負
④昨年のニュース（出来事）の中で、どんな事が印象に残りましたか
⑤いま関心があること
⑥健康のために留意していること

熊本城と私

①田中　宏
②昭和８年11月19日
③一年一年を大事に、大切に生きたい。自分の仕事を、いつも研修。
④熊本の地震、台風、水害から、一日も早く、元気に成らう。
⑤医療技術が発明・発展している。終生研究。
⑥ラジオ体操、散歩、歯みがき、うがいの習慣。

平々凡々とのんびりと

①中根　俊吾
②昭和８年12月20日
③平々凡々とのんびりと周りに余り邪魔にならない生き方をしたいものです。
④なんといっても地震でしょう、それ以外はありません。
⑤もう少し、ゴルフでのアプローチが上手くなりたい。そしてエイジシュート達成。
⑥適当に飲んで、適当に食べて、たまには軽いストレスに晒されること。

健康

①西濱　亮介
②昭和32年１月６日
③家族全員が健康であること。熊本地震の復興。
④熊本地震。
⑤長男、歯科大３年の進級と歯科の国家試験。
⑥血圧が高目なので血圧体操をしています。

九地連で優勝

①有田　俊昭
②昭和32年２月２日
③歯科医師会野球部の九地連大分大会での優勝。
④自然の驚異（地震、水害、阿蘇中岳の噴火）。
⑤山奥の古民家リフォーム。
⑥食事のカロリー制限と思うも、欲が勝り葛藤の日々。

俺がやらねば、誰かがやる

①松岡　拓治
②昭和32年２月21日
③雨ニモ負ケズ　風ニモ負ケズ　雪ニモ夏ノ暑サニモ負ケヌ　丈夫ナカラダヲモチ　慾ハナク　決シテ怒ラズ　イツモシヅカニ笑ツテイル。
④熊本地震。
⑤阿蘇山の大噴火。1000年に１度の地震があるのだから、１万年に一度の大噴火もおきても不思議はない。
⑥交感神経を働かせないこと。ワクワク、ドキドキしない。あくせくしない。嫌いなことをしない。嫌なこともしない。

マサカはありえる

①宮川　俊弥
②昭和32年３月６日
③お彼岸遍路は徳島県を通過し、やっと高知県に入ります。少しでも先まで歩けますように、南海トラフも静かにしてほしいものです。
④まさか熊本で地震が……まさかイギリスがＥＵから……まさかアメリカ大統領が……想像できることは起きる可能性があるということですね。
⑤気力・体力・その他……いつまで診療が続けられるのかが気がかりです。
⑥無理せずに、出来ることを一歩だけ進める。嫌なストレスにならない程度に。

協調と信頼

①原田　教二
②昭和32年３月20日
③患者さんやスタッフとのコミュニケーションをさらに増やす。海外旅行に行く。
④熊本地震・アメリカ大統領選・築地移転問題決着。
⑤ゴルフ、訪問診療。
⑥飲み過ぎない、食べ過ぎない。適度な運動。減塩。

阿蘇は元気です!!

①武藤　健史
②昭和32年３月31日
③体重増加に伴う腹囲腫脹が生み出した運動機能低下の解消のために日々の生活の改善に努力する。
④「平成28年熊本地震」による阿蘇神社の崩壊及び阿蘇大橋崩落。熊本市内の実家の消滅（地震により公費解体）。
⑤寸断状況にある国道57号復旧の時期。ダイエット!!
⑥私よりはるかにラウンド回数は多いが決して自分だけ上手にはならない優しい先輩方との楽しいゴルフを継続する。

健康一番

①守永　純一
②昭和32年６月18日
③還暦という節目の年であるので、健康に留意する。
④熊本地震。
⑤トランプ米新大統領の誕生により、世界がどのように変化するのかということ。
⑥休肝日を設定しているが、なかなか守れないこと。

規則正しい生活

①冨永　浩義
②昭和32年７月14日
③健康第一過食注意。
④熊本地震。
⑤ギターの上達、子供達の将来。
⑥ケガしない程度の運動。

限界地域での医療の決意

①向江　富士夫
②昭和32年11月10日
③人口減少地域で高レベルの医療を提供することに力を尽くす。患者に寄り添えるような医療にも力を尽くす。
④熊本地震。議員や都知事の経費ごまかし。大隅教授のノーベル賞受賞。
⑤医院継承問題。
⑥毎日の弓道の稽古。なるべく歩くこと。

歯医者は楽しい！まだまだ辞めれない！

①秋山　喬
②昭和32年12月４日
③月並みですが、健康に留意し、毎日の診療に精進する。体重を減らす、酒量を減らす。70㎝オーバーの真鯛を釣る。
④熊本地震。
⑤熊本の復興、復旧。う触と歯周病の３ＤＳ治療。
⑥週１回のスイミング、週２回のジョギング。

そろそろ終活考え始めよう

①齊藤　忠継
②昭和32年12月17日
③ケガや病気もせず、健康で普通にくらせればそれで十分!!
④シリアを始め、世界でおこっている紛争。そして、その犠牲になっている子供達を観ると、同種族でこうも殺し合いをするのは人類だけだなと、つくづく思います。
⑤急速に発達するＡＩの技術。15～20年後にはテレビで観た鉄腕アトムの世界が、やって来るかもしれない。そうなったら、今有る職業のいくつがなくなってしまうのか？
⑥週末の長時間のサンポとタバコをIQOSに変えて、フェードアウト後の禁煙。

あけましておめでとうございます

①磯野　誠一
②昭和44年２月20日
③６PACを作って若返り。
④トランプ大統領誕生。世の中何が起こるか、予想できない。

⑤トランプ大統領の政策による全米及び全世界の変化。特に日本の防衛が気になります。
⑥１週間に１日は休肝日を作りたいと思っている。現実は、１ヶ月に１日くらいです。

自分らしく

①田中　みどり
②昭和44年４月26日
③自分らしく笑顔でいられる環境づくり、日々づくり。
④熊本地震や他県での災害。
⑤家族全員の健康維持。
⑥睡眠時間の確保と軽い運動時間の確保とストレスフリーにすること。

健康があってこその毎日

①小林　聡
②昭和44年７月16日
③皆に気付かれない程度の体重減少。
④熊本地震。家族の病気。
⑤車の自動運転。
⑥糖分ひかえめの缶コーヒーにする。

息子と一緒の酉年

①青砥　圭吾
②昭和44年７月20日
③健康な身体に近づきたい。酒量を減らす。
④やはり熊本地震と熊本城。トランプ大統領。
⑤今後の震災の復興。趣味でダイビングをしているけど海の中の海藻が減って磯焼けをおこしており魚の色がカラフルになった事。
⑥痩せたいと思っているがなかなか運動できず、酒を少し減らしたい。

今年こそ健康にいいことを１つ！

①髙﨑　真由美
②昭和44年10月20日
③向上心を持って、ちょっとずつ進みたい。
④熊本地震。
⑤高齢化社会。
⑥今は、何もしていないが、今年は何か始めようと思っている。

娘が生き甲斐

①山本　直秀
②昭和56年３月30日
③自分の診療技術のさらなる研鑽と、今までの症例を振り返り、手技や考え方の考察や反省などを見い出す。
④特になし。
⑤娘の成長と上唇小帯の付着状況。
⑥好き嫌いを極力せずに何でも食べること。

成長しつづけるアラフォーになる

①牧　潤一
②昭和56年４月22日
③仕事でもプライベートでもより多くのことを学んでいきたいです。少しでも成長できるような１年にしたいです。
④熊本地震です。
⑤自分やスタッフの成長のためにできることを模索中です。
⑥夜食厳禁!!

36

①久木田　大
②昭和56年５月６日
③健康で頑張る。
④大雪・大地震・大雨と天災ばかりだったこと。
⑤NBA2016-2017シーズン
⑥スプリントの使用、飲みすぎないように。

2017年へ向けて

①赤﨑　幸太
②昭和56年11月17日
③体調管理をしっかりする。
④熊本地震。
⑤子供達の未来。
⑥睡眠時間の確保。

2017年の目標

①小島　諒
②昭和56年12月28日
③今年は36歳になり、開院して５年目になります。今一度気持ちを引き締め、「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」の精神で過ごしたいと思います。
④熊本地震。
⑤家族の健康と子供の成長。
⑥食習慣。ブラジリアン柔術による適度な運動。

委員会報告

シニア倶楽部　大盛況

— シニア倶楽部 —

厚生・医療管理

10月29日（土）午後６時より、総勢32人参加のもとホテル日航熊本にてシニア倶楽部が開催された。懇親会に先立ち、午後４時より隣接する熊本市現代美術館の研修室にて社会保険研修会が行われた。

懇親会の司会進行は、宮井理事が行った。中嶋副会長からの開会の挨拶に続き、浦田会長から挨拶があった。引き続き、シニア倶楽部代表として上三垣晋甫会員から挨拶があり、社保研修会がとても分かりやすく助かるとシニア倶楽部会員に大変好評である旨、話された。

今年米寿を迎えられる堀川義治会員による、“乾杯”の御発声で、宴会はスタートした。

しばらくの歓談後、寿賀会員７人の表彰が、行われた。米寿の堀川会員、傘寿の山室紀雄会員、喜寿の西山洋一会員、古希は伊東隆三会員、奥田良樹会員、吉村力会員、杉尾健一郎会員である。浦田会長より記念品の贈呈が

あった。

寿賀会員を代表して、伊東会員より地震後の被災者の口腔ケアの大切さを再認識されられたという挨拶を頂き、寿賀会員の表彰は終わった。

余興として、武末憲一会員ご自身がくまモンに扮し、その他会員はくまモンのお面を見に着けＤＶＤ見ながら見よう見まねで踊った。ハロウィンの時期でもあり、皆さんとても楽しそうで、会場は大いに盛り上がった。

余興後は、牛島常務理事作成の本会災害復旧ＤＶＤが会場内に流された。

その後、会場内は、お酒の量と共に、歓談で盛り上がっていった。

小島副会長の万歳三唱後、宮坂副会長の挨拶をもって、本年度のシニア倶楽部は、閉会となった。

（厚生・医療管理　工藤 智明）

寿賀会員

郡市名	氏　名	寿賀	郡市名	氏　名	寿賀	郡市名	氏　名	寿賀
熊本市	西野秀隆	卒寿	熊本市	宇都宮啓一	傘寿	熊本市	永野秀雄	古希
熊本市	武久省二	卒寿	熊本市	内田裕治	傘寿	八代	向井富美子	古希
熊本市	堀川義治	米寿	八代	谷川元雄	傘寿	熊本市	合澤康生	古希
阿蘇郡市	安光千年	米寿	荒尾市	蔵本千恵子	喜寿	熊本市	伊東隆三	古希
八代	澤田稔	米寿	下益城郡	西山洋一	喜寿	八代	尾上宗一	古希
熊本市	片岡淳吉	米寿	八代	上田忠	喜寿	玉名郡市	増田憲元	古希
熊本市	才田雅英	傘寿	玉名郡市	杉尾健一郎	古希	熊本市	冨田久之	古希
八代	川上喜久雄	傘寿	熊本市	寺島美史	古希	八代	福田民男	古希
熊本市	山室紀雄	傘寿	熊本市	奥田良樹	古希	八代	山口規生	古希
荒尾市	坂田光輝	傘寿	熊本市	浜坂浩	古希	熊本市	吉村力	古希
八代	中村矢一	傘寿	熊本市	吉永誠一郎	古希	玉名郡市	國﨑拓	古希
天草郡市	深川恭至	傘寿	熊本市	杉野泰彦	古希	玉名郡市	友田長広	古希
八代	宮本加洲彦	傘寿	阿蘇郡市	新生育子	古希			

委員会報告

制度の周知徹底が重要

― 医療事故調査制度研修会 ―

医療対策

10月30日（日）午前10時30分より標記研修会が大阪府歯会館において開催された。

当県からは永松副委員長と委員長の岡田が参加した。

瀬古口日歯常務理事の開会の辞に始まり、まず主催者側挨拶、来賓挨拶がありその後講演に移行した。

（講演）

①医療事故調査制度（厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長　名越 究）

医療事故調査制度の概要、６月24日に行われた医療事故調査制度の見直し、医療事故調査制度の現状報告について説明があった。

②制度開始一年の現状と医療事故調査・支援センターの目的と役割

（日本医療安全調査機構常務理事　木村 壮介）

医療事故調査制度の考え方とセンターの役割、医療事故の定義と判断から院内事故調査支援団体の役割とセンターとの関係、医療事故調査支援センターについての説明があった。

③支援団体の調査支援の流れ（福岡県医師会副会長　上野 道雄）

実際の院内事故調査委員会での支援団体としての初期対応と報告書などについて説明があった。

（研修）

①歯科における対応事例（初期対応、聞き取り、日頃からの医療安全対策を含めて）

・診療所における対応事例（日本歯科医師会常務理事　瀬古口 精良）

歯科において医療事故調査・支援センターに報告する判断基準と歯科診療所における院内事故調査の流れと支援団体の役割についての説明があった。

・病院における対応事例（日本歯科医学会連合副理事長　今井 裕）

病院における医療事故初期対応の流れおよび医療事故調査制度の概要について説明があった。

②ビデオ研修

院内事故調査委員会の中での聞き取り調査の悪い事例と良い事例の比較検討が上映された。

③グループワーク（初期対応での論点整理および報告書作成までの流れ）

約８名のグループに分かれて局所麻酔薬投与後に死亡した事例を用いて、当該歯科診療の起因性に関する論点を整理した。グループワーク終了後２つのグループから事例の妥当性と結論について発表があった。

その後質疑応答および総括があり、研修会は終了した。

最後に研修会を終えて感じた事は、医療事故調査制度が施行後１年を経過し医科においては徐々に制度への理解も進んでいるが、歯科においては死亡事故の件数が少ないことから、まだ馴染みの薄い制度となっている。しかし死亡事故が発生した場合「管理者が予期しなかったもの」である率は高い。そのため本制度が適用される確率も高いと思われる。そのようなことから支援団体としての県歯科医師会は院内事故調査を支える仕組み、搬送先医療機関との連携など歯科領域独自の調査体制を早急に構築すべきであることを痛感した。

また本制度は「医療事故」の判断・報告・事故調査は当該歯科医療機関自らが行うことが求められている。このことから本制度を全ての県歯会員に早急に周知徹底することが重要と思われた。

（医療対策　岡田 長久）

委員会報告

患者と歯科医師にとって最善の道を追求

― 九州各県歯科医療安全対策担当者会 ―

医療対策

11月５日（土）宮崎県歯会館において九州各県歯科医療安全対策担当者会が開催された。井上宮崎県歯歯科医療安全対策委員長の司会進行で、中原宮崎県歯副会長の開会の挨拶、重城宮崎県歯会長、瀬古口日歯常務理事の挨拶の後、出席者紹介、座長・副座長の選出、日歯報告があった。

その後、協議として

１．平成28年度九州各県歯科医療安全対策関係事業計画及び予算
２．各県提出議題
３．日本歯科医師会への要望及び質問
４．統一フォーマットによる事例報告

各県が抱える問題点や対応、意見等を紹介し協議検討を行った。

各県提出議題は、

１．セルフケアの出来なくなった患者のインプラント　（福岡県）
２．過去５年間に取り扱われた歯科矯正治療に関係した事故・紛争事案への対応　（佐賀県）
３．カルテ開示請求があった時の対応　（長崎県）
４．補綴物維持管理に関わる事例について患者への説明方法、会員への周知（熊本県）
５．顧問弁護士の業務範囲等　（鹿児島県）
６．メールでの医療相談、苦情の対応　（沖縄県）
７．前医の治療行為について、会員に対する注意喚起　（宮崎県）

であった。

日本歯科医師会への要望及び質問については、

１．医療事故調査制度　（福岡県、宮崎県）
２．医療事故調査制度の事例　（長崎県）

３．都道府県医療安全対策担当理事連絡協議会の開催　（鹿児島県）

などの質問に対して、日本歯科医師会から回答が行われた。

その後、統一フォーマットによる事例報告が行われた。

そして、演題「歯科医師として知っておくべき法的責任と事例検討」と題し、江藤宮崎県歯法律顧問弁護士より講演があった。

次期開催県、渡慶次沖縄県歯理事から挨拶があり、閉会の辞を河﨑宮崎県歯副会長が行い終了した。

今後も当委員会は、苦情・医療事故・紛争・訴訟を限りなく「０」に近づけるために、患者からの相談・苦情、歯科医師からの相談・苦情に対して、傾聴と適切な助言を与え、患者と歯科医師のわだかまりを解き、相互理解と信頼へとつないでいく事を目的にしている。残念ながら賠償や訴訟にまで行く事例でも、いま一度立ち止まり、問題の本質に迫り、患者と歯科医師にとって最善の道を求め、専門家と連携をしながら適切な対応を行っている。来年は沖縄県での開催である。

（医療対策　我那覇 生純）

委員会報告

データに表れた歯科医療の現状

― 社会保険講演会 ―

社会保険

11月19日（土）午後４時より県歯会館４階ホールに於いて、「歯科医療を取りまく現状等について」というテーマのもと小椋正之厚生労働省保険局歯科医療管理官の講演会が行われた。

浦田会長の挨拶後に講演に移り、厚生労働省および法令等に関する説明、歯科医療を取りまく現状と平成28年度診療報酬改定の概要、今後の方向性についてのテーマで講演が進んでいった。

小椋管理官よりまずは厚生労働省の組織の説明があり、組織内での歯科医師の人数や所属部署、それぞれの仕事の役割や構成などの説明と一日の仕事の流れなどの説明が行われた。中には国会の質問答弁の裏話などもあった。次に法令に関する説明、その後歯科医療を取りまく現状が説明された。

人口構造の変化予測で高齢者数の大きな増加に始まり、子どものう蝕歯数の減少、平均残存歯数の増加などをグラフを提示しながら話をされた。中には歯科診療所を受診した患者の年齢構成が65歳以上の割合が平成２年に約10％であったのが、平成26年には40％以上に増加しているとのデータもあった。

次に平成28年度の診療報酬改定について説明され、

①かかりつけ歯科医機能の評価
②自立度の低下（在宅歯科医療の推進）

③漸進的な疾患（チーム医療、医科歯科連携の推進）
④生活の質に配慮した歯科医療の推進（加齢による口腔内の変化、歯の喪失リスク増大）
⑤歯科医療技術の推進（新規医療技術の保険導入、先進医療の保険導入）
⑥特定保険医療材料の見直し

以上６つの項目に沿って改訂が行われたとのことだった。

また、平成15年と平成25年の基本・特掲診療別の点数回数の比較のグラフが示され指導管理等が増加しており、補綴及び歯冠修復が大きく減少していることが示された。また、４㎜以上の歯周ポケットを有する者の割合が64歳までは減少傾向にあるが残存歯数の増加に伴い65歳以上で増加傾向にあり特に75歳以上で顕著に増加しているデータもあった。

今後は重症う蝕の減少により、歯の形態回復中心の治療より口腔機能の回復中心の治療に移り、高齢者の残存歯数の増加に伴い、治療の難度やリスクの増加が考えられることが提示され、2025年に向けて地域による包括ケアシステムの構築と御当地医療の充実に取り組むことになるであろうと話された。

最後に歯科医療とは特に専門性が高い分野だということを話されて講演を締めくくられた。

（社会保険　園田 隆弘）

委員会報告

根面う蝕を重症化させないことが大切

― 日歯生涯研修DVDセミナー及び会員発表 ―

学術

11月27日（日）午前10時から日歯生涯研修DVDセミナー及び会員発表が県歯会館４階ホールにて行なわれた。牛島常務理事の開会の辞に続きセミナーが始まった。

前半のDVDセミナーでは、桃井保子鶴見大学歯学部保存修復学講座教授による「根面う蝕への対処～う蝕治療ガイドラインが示すフッ化物の応用とグラスアイオノマーの活用」を視聴した。高齢多歯時代を迎え、より多くの歯を有する高齢者が増加し根面う蝕という難題に直面している。介護の現場では、多発性の根面う蝕は、歯冠破折や咬合崩壊を経て摂食障害につながるとして、深刻に捉えられている。そのため、歯冠う蝕ガイドラインとは異なり発生してしまった根面う蝕を重症化させないこと、また歯を弱体化させずにう窩を修復することが重要である、と解説された。

根面う蝕の発生は、歯間部隣接面のセメントーエナメル境（CEJ）から発生することが多く、これが歯頸部を取り囲み環状に進行する。そのため、セルフケアでは歯間部隣接面のプラークコントロールが重要であり、特にデンタルフロスを使用する場合はY字タイプのものが有効である。

根面う蝕の検査は触診と視診が中心である。病変部の探針による触診では、Hard（硬い）は非活動性、Soft（柔らかい）は活動性と判定する。初期活動性根面う蝕は、探針でソフト感があり、う窩自体の大きさが0.5㎜未満の病変と考えられている。このようなう蝕には、1100ppmF以上のフッ化物配合歯磨剤を使用するだけで再石灰化の可能性がある。よって、欠損の浅い初期活動性う蝕の場合はフッ化物を用いた非侵襲的治療を行って再石灰化を試み、う蝕を管理することが推奨される。

次に切削修復処置が必要な根面う蝕であるが、

①う蝕が歯肉縁上で防湿が可能な場合はコンポジットレジン修復

②う蝕が歯肉縁下で防湿が困難な場合はグラスアイオノマー修復

が推奨されている。フッ化物イオンを溶出するグラスアイオノマーは、長く臨床で使われてきた安心・安全な材料で、緊急避難的な場面におけるレスキューマテリアルとしても必要不可欠な材料である。日常臨床では、切削せずに再石灰化療法でう蝕の進行を抑制する方が結果的には歯の延命につながることが多いため、グラスアイオノマーの重要性が提示された。

後半は、熊本市開業の東克章会員をコメンテーターとして迎え、それぞれのスタディグループで、日頃研鑽を積まれている４人の会員発表が行なわれた。

Ⅰ「Optimal treatment planを求めて」～患者にとって最適な治療とは
　FCDC所属　國﨑 貴裕　会員

Ⅱ「重度のブラキシズムを認める患者のフルマウス治療」～ナイトガードの重要性を再認識した
　AOG所属　椿 誠　会員

Ⅲ「私の日常臨床」～頭蓋顎顔面口腔系においての下顎位を探して
　迷想会所属　舩津 雅彦　会員

Ⅳ「3 Approaches to Lateral-Incisor Missing」
　熊本SJCD所属　川口 孝　会員

４人の発表は理路整然として素晴らしかった。口腔内写真や顔貌写真、レントゲン写真などの情報を基に診査診断を行い、適切な顎位を導き出す。それから治療を行い、ゴールを迎える。特に顎位に対する考え方やアプローチ方法がそれぞれで異なり、たいへん興味深い会員発表であった。

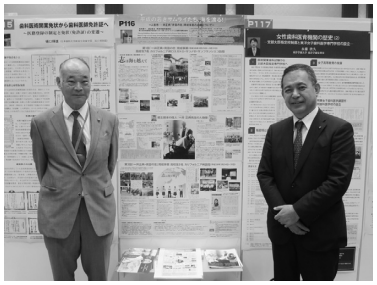
質疑応答後、井上理事の謝辞・閉会の辞をもって終了した。

（学術　壽永 旭博）

「郷土熊本の偉人・一井正典“青雲の志”育成事業の紹介」

昨秋、10月21日、22日の第23回日本歯科医学会総会（福岡市国際会議場）にて、人吉市の主催事業である第１回及び第２回「一井正典“青雲の志”育成事業」を下記の内容でポスター発表（番号P116）しましたので、ご紹介させて頂きます。

一井正典先生



ポスター演者（松本、渡辺）

ポスター会場風景

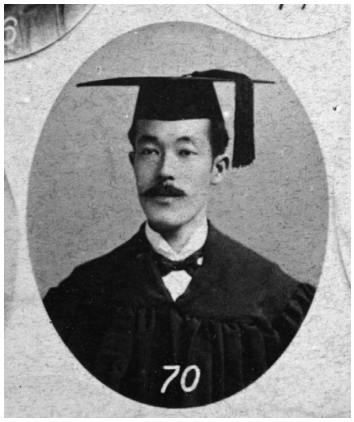
発表演題名は「平成の若きサムライたち、海を渡る！」＝人吉市・一井正典「青雲の志」育成事業の成果について＝“Young Ambitious Samurais went to America to Pursue their Dreams”です。今回の発表は日本歯科医史学会会員の松本晉一（人吉市開業）と、同学会会員で本会の渡辺賢治専務理事（美里町開業）との共同発表で行いました。

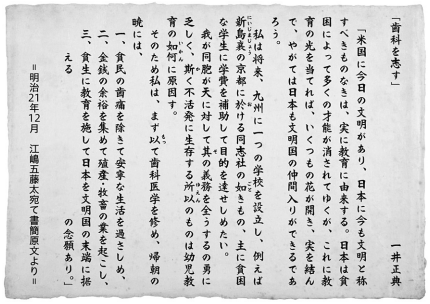
演題にもありますように、人吉市は郷土熊本県出身の明治期の歯科医、一井正典先生の米国と日本での事績にちなんだ青少年育成訪米事業を、これまで平成26年３月と同28年３月の２回ほど実施。合計12名の高校生が米国カリフォルニアを訪れています。その目的は地元熊本の偉人、一井正典の米国での足跡をたどることで、一井と同じく「青雲の志」を持ち、グローバルな人材として活躍する青年を育成することにあります。この２回の人吉市の本事業実施を通じて、選抜派遣された12名の高校生（若きサムライ）たちの“海を越えた志”、その意志と行動を訪米体験を交えて紹介しました。そして、この「青雲の志」事業企画のねらいとしては、下記の「まとめ」のように学生たちの今後の飛躍と、将来の彼らの地域還元を期待するものであります。

今回の訪米事業実施にあたっては、人吉市（松岡隼人市長）の企画課及び人吉市教育委員会（末次美代教育長）関係者の主導は勿論のこと、高校生を受入れた地元カリフォルニアのサンノゼ及びロスガトスの行政及び受入れのサンノゼ大学、スタンフォード大学、ロスガトス高校、リンブルック高校等のご尽力によるものですが、その背景には人吉出身で地元ロスガトスの企業家、井手祐二氏（鹿児島大学元特任教授）の存在が大きかったのです。この２回の本事業実施にあたって、現地のホスト役を務められた井手祐二氏のコメントを紹介します。

＜一井正典青雲の志・育成事業の米国現地ホスト役：井手祐二氏の意見＞

私は一井正典の想いは、一井家菩提寺・人吉市永国寺の顕彰碑（人吉市歯科医師会建立・右下）に刻まれている彼の言葉そのものだと思っています。それは日本を文明国にする「夢」でした。特に最後の「貧生に教育を施して日本を文明国の末端に据える　の念願あり」の部分が、この「青雲の志・事業」に通じるものを感じます。すでに文明国入りした日本から、世界の先進国の一員として世界の平和と繁栄のために、グローバルに活躍する人材が人吉や熊本から出てくれれば、一井正典と江嶋五藤太、そして渋谷敦先生も喜んでくれるでしょう。そしてグローバルな視点から人吉と熊本の歴史と環境を活かした、国際ビジネスや新しい産業を創出できればと思います」





「歯科を志す」

一井正典

「米国に今日の文明があり、日本に今も文明と称すべきものなきは、実に教育に由来する。日本は貧国によって多くの才能が消されてゆくが、これに教育の光を当てれば、いくつもの花が開き、実を結んで、やがては日本も文明国の仲間入りができるであろう。

私は将来、九州に一つの学校を設立し、例えば新島襄の京都に於ける同志社の如きもの、主に貧困な学生に学費を補助して目的を達せしめたい。

我が同胞が天に対して其の義務を会うするの勇に乏しく、斯く不活発に生存する所以のものは幼児教育の如何に原因す。

そのため私は、まず以て歯科医学を修め、帰朝の暁には、

一、貧民の歯痛を除きて安寧な生活を過ごさしめ、

二、金銭の余裕を集めて殖産、牧畜の業を起こし、

三、貧生に教育を施して日本を文明国の末端に拝える

の念願あり。」

＝明治21年12月　江嶋五藤太宛て書簡原文より＝

1888年（明治21）12月米国一井正典より江嶋五藤太宛て書簡と顕彰記念碑（人吉市歯科医師会・永国寺）

この手紙のように、“米国で歯科の医学を修め、帰国後は日本の人々の歯痛を除き、安心出来る生活を維持し、その経済的な余裕によって農業や牧畜業を振興し、貧しい学生を教育して、日本を文明国の一員にすること”が一井正典の志でした。この中でも人吉市は特に教育的視点から一井正典の遺志を継いで、この訪米事業を企画実施されたのです。

＜第１回訪米：高校生７名（引率２名）平成26年３月＞

第１回募集要項

Dr. バンデンバーグ旧居訪問
（左から３番目が井手祐二氏）

＜第２回訪米：高校生５名（引率２名）平成28年３月＞

現地訪問先と参加の学生

帰国後の事業報告会

まとめ：
一井正典「青雲の志」事業のねらい

1．先人の考えに触れる：
　一井の志と目的に触れ、郷土の偉人と人材の豊かさを知る

2、先人の生き方をたどる：
　一井の行動をたどることで自分の進む道がひらける

3、先人の当時の背景を知る：
　一井を海外に送出した江嶋五藤太他の存在とその当時の社会状況

4、自立できる人間を育てる：
　一井のように自分の考えと意志で、自分の行動を決める

5、支援が人を育てる：
　本事業による高校生支援が、優れた人材育成のチャンスとなる

6、人の恩、世間の恩を知る：
　地域の人や世間への恩義に報いる意識を育てる

7、海外雄飛の大切さ：
　日本と米国の各種交流で、感受性、人間性が豊かに育つ

8、地域への還元：
　10年20年後、学生らの思い、人吉市の思い、一井正典の思いに、各種の花が咲き、それらが日米の各地域へと還元される

以上、今回の学会発表で熊本県出身の一井正典先生の存在と本事業のねらいが、日本の医療界、医学会及び歯科医師会関係者に、より広報・認知されて、日米双方に同じ志を持つ多くの若者たちの輩出につながることを期待しています。

（人吉市　松本 晉一）

第23回日本歯科医学会総会ポスター発表（2016.10.21～22）

（参考資料）
・広報ひとよしNo.976「生誕150周年記念特集、日米をじゅぐりっと駆けた歯科医、一井正典伝」2012年12月号
・「７人の若きサムライ、海を渡る！」人吉高校生による「一井正典・青雲の志」育成事業の成果　松本晉一　週刊ひとよしNo.810　2014年７月13日
・「一井正典人物遺産の活用方法」 松本晉一 第41回日本歯科医史学会後抄録、平成25年11月
・「一井正典・青雲の志」育成事業、高校生、米国派遣の成果について」松本晉一　日本歯科医史学会会誌30巻４号388～396頁2014年９月
・広報ひとよしNo.1062「特集・一井正典「青雲の志」育成事業リポート「志は海を越えて」2016年７月号
・「維新の若きサムライ、一井正典とその時代」　松本晉一 熊本県歯科医師会 平成24年６月
<著者への連絡先：熊本県人吉市九日町115　松本晉一
TEL0966-22-2928　Email：smatsu@fsinet.or.jp>

新企画 リレー投稿

「癌を克服した今、思うこと～」

玉名郡市　春野 惟一

10月半ばに突然、竹下広報担当理事から「何でも良いから原稿書いて！」と言われて22年５月に突然前触れなく末期（限りなくステージ４に近い）の直腸癌になってしまったことを書こうと思った。それまでは一度腰痛で入院した以外風邪、二日酔いぐらいで寝込むぐらいでそれなりに健康には自信があった。食欲はあり、麻雀やビーチバレー、大好きなボウリング、毎朝１時間のジョキングもして、体調はとても良いけど過度の体重減少と便秘気味になったので近所の内科を受診した。その後、玉名地域医療センターを紹介され、そこでも精密検査のために熊大消化器外科をすぐ紹介された。もう自分でもただ事じゃない、癌！かなと感じて熊大を受診した。検査結果は７、８年物のデカイ直腸癌が肛門付近に巣喰ってたようだ。５月の手術では癌を全部摘出して人工肛門をつける予定だったが腹腔を開けてみると転移が予想より明らかに広くどうしようもなくそのまま閉じたみたいだ。私は麻酔下だったのでそんな事知るわけもなく10時間後、目が覚めた時の周りの娘達の様子が変なのは感じた。翌日主治医の術中の様子、病状の詳しい説明があり、娘たちは泣き出すし、私は頭が真っ白で何も考えられなかった。もう私は死ぬのか？もうどうでも良い～投げやりな気持ちも正直あった。それから半年ぐらいきつい抗がん剤、放射線治療を続けてやっと癌が小さくなってからまた手術。今回はどうか上手くいきます様にと気弱に祈ったものだ。神様、仏様、家族がいたからなんとか手術は成功し、経過も良好だった。入院中に体力はみるみる回復し、検査結果を見た主治医は「正直驚いた。こんなの初めてだ！運が良い、奇跡に近い！」とまで言ってくれた。現在も定期検査で受診すると同じことを言われ「私は奇跡的に助かったんだ！」と思い返す。あれから６年半経過したが体調も良く転移も再発もなく経過良好である。一度は死を覚悟して奇跡的に助けてもらった命だから60還暦になって改めて健康第一を痛感する。病気してから変わったことは自分の健康第一はもちろん周りの生き物、犬、金魚、メダカ、花々、木々そして患者さんたちにも優しく接するようになれたことかなと思う。特に薔薇には毎日癒され楽しく穏やかに過ごしている。嫌な時、怒った時、悲しい時も薔薇を見てると心が落ち着き平常心を保てます。現在、自院の花壇には30種類の色とりどりの薔薇があり年数回綺麗で見事な花を咲かせてくれます。孫の名前は忘れても薔薇の名前は忘れません。近所の方々や患者さんが薔薇を誉めてくれたり、患者さんからもらった金魚、めだかの水槽が綺麗！可愛い！とか誉めてくれると治療そっちのけで薔薇、めだかの話で盛り上がります。大病してから現在、こんな些細な喜びや楽しみをゆっくり（じっくり）味わい、奇跡的に生き返った自分を感じて、今までにない充実した毎日を過ごしています。

これからも好きな事、楽しい事をして周りの生き物に癒されながら日常臨床が楽しく感じられるようにボチボチ生きて行こうと思っています。

次は高校の先輩で数年前から県歯ボウリング部で一緒に汗を流してる奥田良樹会員です。私の歯科、人生、遊びの師匠、先輩です。よろしくお願いします。

熊本市歯科医師会

「キャストインレーからＣＲ充填へ」

― 学術講演会 ―

10月15日（土）午後３時から県歯会館３階会議室において、学術講演会が開催された。講師は大阪市ご開業の脇歯科医院の脇宗弘院長で、「MIコンセプトに基づいた保存修復治療」という演題でご講演いただいた。

講演会では、保存修復治療についてカリエスの診査診断からMIコンセプトの利点や原則、コンポジットレジン修復のステップや細かいテクニックまで、いろいろな角度から臨床家の視点で解説いただいた。従来の維持・保持・抵抗形態を考えた物理的嵌合のセメント合着から、接着によるボンディッドレストレーションへグローバルスタンダードが変化していることに触れられ、今までの一般的な修復物の作成手順では形成からキャストまでだんだんと精度が悪くなっていくことから、治療をすればするほど歯を失う傾向にあった。そのことから最初の一削りを慎重に確実にということを強調され、そのことからMIの原則として口腔内細菌叢へのアプローチ、患者教育、初期う蝕病変への対応がとても重要であるとお話しされた。

コンポジットレジン修復については、現代の歯科治療では日常臨床で一番頻度が多いのではないかと思われるが、そのメリットとしては、１回のアポイントで終わる、歯を削る量が少なくて済む、利益率が高い、自然な色でできるなどを挙げられました。我々がコンポジットレジンに求めることとしては、操作性や強度、長期

の安定性などだと思うが、現在ではフロアブルレジンでも操作性や物性が高くなっており、窩底をハイフローで薄く一層ライニングし、ローフローでデンティンを充填し、そのあとスーパーローフローで咬頭を充填する積層充填法を推奨されていた。

また、CR充填では次の11ステップがとても大事だということで、ステップを一つ一つ解説された。診査診断、治療計画の立案、術式・材料の選択、充填物・感染歯質の除去、窩洞形成、防湿、充填、形態修正、研磨、メインテナンス。その中で、ご自身が使用されている材料の性質や、使用に関する勘所など臨床例を通して細かくお話ししていただいた。

会場にも多くの方にご来場いただき、まさに明日から使えるテクニックや内容が多く、とても勉強になった。

（山口 英司）

天草郡市歯科医師会

記念すべき250回目の学術研修会

— 天歯学術研修会 —

11月15日（火）午後７時30分よりプラザホテル天草にて天歯学術研修会が行われた。今回で第250回目となる記念として特別講師に中村社綱会員をお迎えし、「インプラントのリスクファクターとその解決策」という演題で講演して頂いた。

まずはインプラントの歴史を説明され、それと共に中村会員の30年を越えたインプラント症例を提示され、導入から度胆をぬかされた。さらにインプラントの目的は①咀嚼機能の回復②咬合支持域の獲得③健全歯の切削回避④顎補綴への適応、と簡潔にまとめられ、それぞれの目的に沿った症例を提示させられたが、どれも素晴らしい手技、経過を辿っており、只々感嘆の連続であった。特に上顎骨の悪性腫瘍により部分的に骨を切除された患者さんの反対側の骨にインプラントを埋入し、顎補綴を行った症例はインプラントの新たな可能性を示唆し、その患者さんのQOLはどれほど回復したかと思うと本当に感動的であった。そしてリスクファクターの話として、やはり大きいのは歯周炎の既往と喫煙がリスク因子であり、さらには骨粗鬆症の患者さんという事であった。最後に他院でされたインプラントがトラブルを起こし、それを中村会員がフォローアップされた症例も提示されたが、そのインプラントは解剖学的に何も考えずに埋入されたケースで、我々歯科医師はもう一度よく熟考してインプラントを埋入しなければならないと改めて思わされた。大変濃密な２時間近い講演で、その後の懇親会も大いに盛り上がった。

30年を越えた症例に興味津々

（松原　崇士）

お知らせ

平成28年度臨時代議員会　開催のお知らせ

下記の通り平成28年度臨時代議員会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：平成29年３月25日（土）午後３時～
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

［議　事］
第１号議案　平成28年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）の承認を求める件
第２号議案　平成29年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第３号議案　平成29年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第４号議案　平成29年度熊本県歯科医師会会計収支予算書（案）の承認を求める件

［協　議］
１　時局対策
２　その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、会議場後方に席を用意いたしますので、事務局に必ずご連絡のうえご来館ください。

郡市会報告

阿蘇郡市歯科医師会

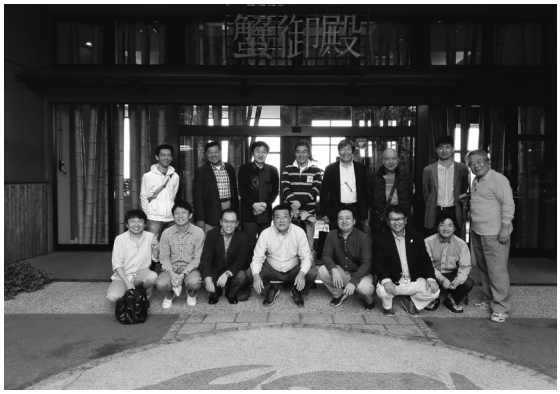
佐賀県太良町太良嶽温泉「ホテル蟹御殿」の巻

― 親睦旅行 ―

11月19日、20日、今年の旅行は……そうだ！「蟹を食べたい…」ということで、佐賀県太良町太良嶽温泉「ホテル蟹御殿」に決定！

11月19日午後１時バスで小国町を出発…内牧…阿蘇駅…大津…空港にてそれぞれが乗車、午後３時に全員集合いざ高速で佐賀へGO！わいわい騒ぎながらビール飲みながら…「蟹御殿」に着くころにはすっかり日も暮れていた。それからゆっくり温泉につかり…身も心もふやけてきたところで…さあ宴の始まり始まり～新鮮なお造りに、竹崎ガニまるごと一匹（絶品）、次から次へと美味しい料理が運ばれ……日本酒もとても合い…「今日はおうちに帰らなくていいのよ」ってことでアルコールも会話も普段以上に進む。「さあみんなで二次会だー」と言ってもまわりに何もないので、一部屋に全員集まって夜遅くまでさまざまな？話に花をさかせた。

翌朝、朝日を見ながらお風呂を堪能し、朝食が舌平目（当地では「くっぞこ」と呼ばれています）の一夜干し、鉄器で炊き上げたほかほか御飯、蟹のお味噌汁といつも以上に食べすぎた。生卵おかわりする人もいたぐらいだ。そして午前９時にお宿を後にして祐徳稲荷神社へ、体力



と気力のある参加者だけ山のてっぺんにある奥の院まで登ってお参りしてきた。次に幸姫酒造という酒蔵によってあれこれ試飲…それぞれ好みのお酒などを買って…二日目のとっておきのランチへ、ＪＡさが直営「季楽」（きら）で佐賀牛サーロインステーキランチ…昨晩と今朝あんなに食べたのに…みんなペロッと平らげてしまった。胃袋を満タンにして帰路についた。日頃の診療のことなど忘れて過ごした二日間、とてもいい息抜きになった。来年に乞うご期待!!

（馬谷　真）

ご　訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

川原　雄次 先生

平成28年11月19日　ご逝去　60歳

- 郡　市　名：八代
- 入会年月日：昭和60年４月23日

団体戦３連覇逃す

― 九州歯科医学大会剣道大会 ―

剣道部報告

10月23日（日）厚生部の剣道大会が、福岡市早良区修猷館高校にて行われた。結果は、団体戦　熊本県Ａチーム、Ｂチームとも予選リンク戦敗退、個人戦（一般の部）３位・太田文隆会員、ベスト８・中井大史会員（敢闘賞）、近藤俊輔会員であった。

一昨年、去年と団体戦は優勝していたので、是非３連覇をと部員、応援団の一丸となって望んだが、不甲斐ない結果となった。ただこの結果になるまでの過程、健闘ぶりをこの場を借りてお知らせする。

団体戦

本当にくじ運が悪かった。団体戦は予選がリンク戦で行われる。リンク戦は第一パート６チーム、第二パート５チームに分かれそれぞれ６角形、５角形の頂点に割り振られ、隣に記載されたチームと戦う。その結果の勝者数、勝ち本数が多い２チームが第一第二パートからそれぞれ決勝トーナメントに勝ち進む。すなわち、リンク戦では強いチームが隣にくると、勝者数が上げにくい。熊本県Ａチームの隣は、今年準優勝の佐賀と、鹿児島。Ｂチームは、福岡Ａと長崎Ａ。両チームともなかなかの強豪と対戦した。中でも熊本Ａチームは、同じ第一パートに今回優勝した福岡Ｂと、準優勝の佐賀を含んでいた。案の定厳しい戦いとなり、第一パートの勝ち抜けは、福岡Ｂは早々に決定したが、もう１チームがなかなか発表されない。佐賀と熊本Ａで、チームとしての勝ち数、勝った人数、有効打突の総数ともに同数とのこと。代表選戦が中嶋隆志会員と佐賀の市丸英二会員で行われた。佐賀の市丸会員は勉強会の講師をされたり、普段は温厚であるが、面をつけるとなかなか激しい気性になり、先ほどの中堅戦では三森康弘会員を場外に突き飛ばしていた。通常は二本先取したほうが勝ちとなるが、代表戦では一本先に先取した時点で勝敗がきまる。開始まもなく、上段の構えから、中嶋会員の鋭い小手。

メンバー全員で来年の雪辱を誓う

主審の旗が揚がり決まったと思ったが、副審２人の旗が揚がらない。角度的に見えにくかったことが悔やまれる。チームの決勝トーナメント出場が一本で決まるため両者、一歩も引かず、両チームとも固唾を飲んで応援している中、微妙な感じで（熊本としては）市丸会員の小手が決まってしまった。かくして、熊本Ａチームの３連覇はかなわなかった。

個人戦

三位の太田会員は、毎年安定して好成績を残している。ベスト８で敢闘賞の中井会員は、トーナメントで個人戦優勝の大分の塚本林功会員と対戦した。塚本会員は九地連で毎年優勝か準優勝されており、大分市の大会などでも上位に食い込む。すぐに勝敗がきまることが多い中、中井会員は、相手の反則を誘い、なかなかの好勝負。勝負がつかず延長戦となり、残念ながら一本とられてしまった。試合後塚本会員は「危なかった」とコメントし笑顔が漏れていた。近藤会員は佐賀の市丸会員に奇跡的に勝ったが、太田会員に負けた。

また、澤木直子会員が女性として長年の参加が評価され功労賞を受賞された。

たくさんの応援ありがとうございました、来年もよろしくお願いいたします。最後に剣道経験者の方は一緒に頑張りませんか？部員には40歳前後から一から剣道を始められた先生もいらっしゃいます。興味のある方は是非ご連絡ください。

（近藤　俊輔）

「井手尾会員、個人ハイゲーム」「２人チーム戦、３位入賞」

― 九州歯科医学大会ボウリング大会 ―

ボウリング部報告

第69回九州歯科医学大会厚生事業の一つであるボウリング大会が、10月23日（日）博多スターレーンにて開催された。

九州各県（今回、長崎県は欠場）より88選手が参加し、今年の選手権者の座を競った。

熊本県からは、奥田、西銘、井尾、井手尾、菊竹、宮井、秋山、伊藤の８人がエントリーし、大会に挑んだ。

開会式では、前年度覇者の鹿児島県より優勝旗の返還があり、引き続き70歳以上の参加選手が特別表彰された。

熊本県からは、元気一杯の若々しい奥田会員が授与された。

大会はハイレベルな争いとなり、個人戦上位入賞者の３ゲーム合計が634点以上、アベレージが211点以上であった。

県勢の主な戦績は、

２人チーム戦	３位	熊本Ｄ（井尾、秋山）
個人総合	７位	井尾
	10位	井手尾
個人ハイゲーム	井手尾	

来年の大分大会に向けメンバー一同精進します

以上が入賞を果たした。

一方、優勝旗を競う４人チーム戦では、12位、16位と今回も奮わなかった。

来年は大分に舞台を移し開催されるが、部員一同レベルを上げ、より良い成績を残せるよう精進いたします。

最後になりましたが、お忙しい中、応援に駆けつけていただきました皆様には、書面をもって御礼の言葉とさせていただきます。

ご声援、有難うございました。

（菊竹　茂人）

H.29.1

会　務　報　告

自　平成28年10月24日
至　平成28年11月20日

会務報告

所管	日付	摘要	出務者
総　務	10月26日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館）	中嶋副会長
		第18回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）第10回熊本県医療・保健・福祉連携学会の賛助金 （３）平成28年度熊本地震における歯科医療支援に関する協議会の設置　ほか 【議　　題】 （１）平成29年度第２回九地連協議会の開催期日・会場 （２）自民党県連主催「チームくまもとに対する要望聴取会」への要望 （３）平成28年度二地区歯科医師会役員連絡協議会協議題　ほか 【協議事項】 （１）地域医療構想の策定	浦田会長他全役員、伊藤学院長
	27日	県体育協会第１回強化専門委員会・第２回スポーツ医科学専門委員会合同会 （水前寺共済会館グレーシア）	渡辺専務理事
		裁定審議委員会 （１）会員の身分の取り扱い	渡辺専務理事、元島委員長、千場副委員長
		くま歯キャラバン隊（荒尾市）（荒尾市民病院） （１）コホート調査 受講者：11名	田上常務理事、赤尾理事
	28日	医科歯科連携訪問診療用機器整備事業打合せ （１）ＵＫデンタルとの打ち合わせ	宮坂副会長
		第４回熊本地震見舞金・義援金給付検討臨時委員会 （１）会員診療所・自宅の罹災証明書に基づく被害状況一覧 （２）被害程度に基づく見舞金・義援金の一人当たり支給額の設定 （３）中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の委託契約　ほか	小島副会長、久々山・西野監事、渡辺専務理事、八木常務理事
	30日	月次監査 （１）９月末会計現況監査	久々山・西野監事
	11月１日	日歯災害歯科コーディネーター研修会打合会 （１）災害コーディネーター研修会スケジュール等（２）研修会講師への対応 （３）研修会確認事項	小島・宮坂副会長、渡辺専務理事、田上・八木・牛島常務理事
	２日	熊本国際スポーツ大会実行委員会設立総会（ホテル日航熊本）	澤田事務局長
		在宅歯科診療器材整備事業打合せ（県庁）	宮坂副会長
		第32回常務理事会 （１）新型インフルエンザ等対策訓練の実施（２）平成29年度総務の事業計画（案） （３）熊本県国民健康保険運営協議会の設置に伴う委員の推薦　ほか	浦田会長他小島副会長を除く常務理事以上全役員
	３日	日本歯科衛生士会武井会長来訪	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、牛島常務理事
	４日	人事評価研修	渡辺専務理事、八木・牛島常務理事、伊藤学院長、弘中教務部長
	５日	熊本県歯会野球部納会（熊本市）	小島副会長
	７日	第２回選挙管理委員会 （１）会長予備選挙及び役員等選挙の日程 （２）実施要領及び選挙の事前お知らせの配布時期	杉尾委員長他全委員、小島副会長、渡辺専務理事、八木・牛島常務理事
	８日	各委員会概算要求協議（厚生・医療管理、学術、学校歯科、地域保健、総務・医療連携）	宮坂副会長、渡辺専務理事、田上・八木・牛島常務理事、宮井・井上・大林・赤尾・宇治理事
	９日	第３回日歯学術委員会（日歯会館）	牛島常務理事
		第781回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
		各委員会概算要求協議（広報、医療対策、センター・介護、社会保険）	小島・中嶋副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、竹下・松本・田中・椿理事、岡田委員長
	11日	九州調停委員大会（長崎ブリックホール）	前野会員
		県総合保健センター土亀直俊所長日本対がん協会賞受賞祝賀会（熊本ホテルキャッスル）	浦田会長
		熊本地震アンケート調査打合会	渡辺専務理事、竹下・宮井・赤尾・宇治理事
	12日	「九州」「中国・四国」地区役員連絡協議会（ホテルグランヴィア岡山）	浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理事、田上常務理事、澤田事務局長
		九州歯科用品商協同組合創立60周年記念式典・祝賀会（ホテルセントラーザ博多）	牛島常務理事
	14日	裁定審議委員会 （１）会員の身分の取り扱い	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、元島委員長他全委員
	15日	第33回常務理事会 （１）平成28年度臨時代議員会の日程（案） （２）平成29年度各委員会の事業計画並びに予算（案） （３）平成28年度熊本県委託（補助）事業に係る予算　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	16日	平成28年度熊本地震感謝状贈呈式（熊本テルサ）	小島副会長、澤田事務局長
		都道府県専務理事連絡協議会（日歯会館）	渡辺専務理事
		第５回県地域医療構想検討専門委員会（テルウェル熊本ビル）	宮坂副会長
		グループ補助金交付申請説明会 受講者：103名	小島副会長、八木常務理事
	18日	九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同懇親会（ホテル日航熊本）	小島副会長
		口腔外科ECCトレーニングサイト熊大・伊東歯科BLS講習会開催10周年記念会	牛島常務理事
		110周年記念事業表彰部小部会 （１）表彰要綱の確認（２）表彰該当者の範囲（３）知事表彰・教育委員会表彰　ほか	渡辺専務理事、八木常務理事、瀬井国保理事
	19日	第116回九州医師会連合会総会（ホテル日航熊本）	浦田会長
		事務局臨時職員採用試験	渡辺専務理事、八木常務理事
		グループ補助金交付申請説明会 受講者：45名	浦田会長、小島副会長、八木常務理事

所管	日付	摘要	出務者
社会保険	10月28日	社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応 （３）シニア倶楽部社保研修会　ほか	田中・椿理事、清水委員長他全委員
	29日	シニア倶楽部社保研修会（熊本市現代美術館） 受講者：22名	渡辺専務理事、田中理事、清水委員長、桐野・橋本副委員長
		社会保険個別相談会 相談者：１名	野田副委員長、舩津・園田委員
	11月４日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：０名	田中理事
	10日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	反後・井口・舩津委員
	13日	社会保険講演会 受講者：117名 演題：「生体情報モニタの見方と留意点、保険請求」 講師：熊本大学医学部付属病院歯科口腔外科　吉田遼司講師	中嶋副会長、田中理事、桐野・橋本副委員長
	19日	社会保険講演会 受講者：94名 演題：「歯科医療を取りまく現状等」 講師：厚生労働省保健局　小椋正之歯科医療管理官	浦田会長、中嶋副会長、田中・椿理事、清水委員長他全委員
地域保健	10月29日	各郡市地域保健担当者会 （１）地域保健委員会の流れ（２）平成27年度・28年度の各郡市事業報告 （３）歯と口の健康週間事業　ほか	浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理事、田上常務理事、赤尾理事他髙水間委員を除く全委員
	11月６日	笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント（熊本市・上通びぷれす広場） 来場者：1150名	浦田会長、宮坂副会長、田上常務理事、赤尾理事、小田・伊藤委員
		歯と口の健康週間「歯の祭典」 （１）くまもと歯の健康文化賞表彰式（２）高齢者よい歯のコンクール表彰式 （３）図画・ポスター・習字・標語作品入賞者表彰式 参加者：220名	浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理事、田上・八木常務理事、大林・赤尾理事他11委員
	17日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（菊池自動車学校）	歯科衛生士２名
		協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（KDS熊本ドライビングスクール）	歯科衛生士２名
広　　報	11月11日	広報小委員会 （１）会報12月号編集・第１校校正	竹下理事、永廣副委員長他２委員
学校歯科	10月27日	第66回全国学校歯科医協議会（京王プラザホテル札幌）	浦田会長
	11月14日	歯及び口腔の健康づくり指導（宇土市網田小学校） むし歯予防及び歯肉炎予防講話	近藤会員
	16日	第80回全国学校歯科保健研究大会（第１日目）（東京・文京シビックホール）	浦田会長
	17日	第80回全国学校歯科保健研究大会（第２日目）（東京・文京シビックホール）	浦田会長
		県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
医療対策	10月30日	医療事故調査制度研修会（大阪府歯会館）	岡田委員長、永松副委員長
	11月２日	医療相談	岡田委員長他２委員
	５日	九州各県歯科医療安全対策担当者会（宮崎市）	永松副委員長、我那覇委員
センター・介護	11月１日	地域密着リハビリテーションセンター指定書交付式及び説明会（県庁）	松本理事
		カルテチェック（口腔保健センター）	松岡センター長
	５日	口腔保健センター打合せ （１）口腔保健センターの運営（２）次年度予算	松岡センター長、松本理事
	13日	第12回福岡摂食嚥下障害サポート研究会（福岡市・パピヨン24ガスホール）	宮坂副会長、松本理事、太田委員
	16日	センター・介護小委員会 （１）平成28年度委託事業日程（２）委員会業務内容	松本理事、平井委員長他１委員
厚生・医療管理	10月24日	日本歯科医療管理学会九州支部総会・学術大会準備委員会	牛島常務理事、宮井・竹下理事、工藤委員長
	28日	球磨郡健康診断（あさぎり町免田保健センター）	
	29日	下益城郡健康診断（松橋公民館）	
		シニア倶楽部（ホテル日航熊本） 参加者：32名	浦田会長、小島・中嶋・宮坂副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、宮井理事他４委員
	11月11日	日本歯科医療管理学会九州支部総会・学術大会準備委員会	牛島常務理事、宮井・竹下理事、工藤委員長、池嶋副委員長
	14日	厚生・医療管理小委員会 （１）就業規則の見直し（２）医療管理学会九州支部総会・学会（３）医療管理講演会	牛島常務理事、宮井理事、工藤委員長他２委員
	19日	日本歯科医療管理学会九州支部役員会	牛島常務理事、竹下理事
		日本歯科医療管理学会九州支部懇親会（アークホテル熊本城前）	浦田会長
	20日	第18回日本歯科医療管理学会九州支部総会・学術大会	浦田会長、牛島常務理事、宮井・竹下理事、工藤委員長、池嶋副委員長、坂田・牧委員
総務・医療連携	10月31日	心臓血管外科連携打合せ（熊大附属病院） （１）熊大心臓血管外科Dr.と今後の連携について打ち合わせ	牛島常務理事、宇治理事
	11月２日	県医療・保健・福祉連携学会第３回企画委員会（テルウェル熊本ビル）	小島副会長
	16日	「回復・維持期リハを考える会」と「地域完結型の治療とリハビリテーションを考える会」合同会シンポジウム打合せ（御幸病院）	牛島常務理事
学　　院	10月25日	第２回学院入学試験委員会 （１）合格・不合格通知	浦田会長、伊藤学院長、小島・中嶋・宮坂副会長、渡辺専務理事、牧・林副学院長、弘中教務部長
	11月２日	歯科衛生士リカバリー研修会打合会 （１）リカバリー研修事業の日程および実施内容	伊藤学院長、宮井理事、工藤委員長他１名
国保組合	11月８日	組合地区国保運営協議会事務研修会	澤田事務局長他３名
	18日	国民健康保険組合被保険者全国大会（東京・憲政記念館）	浦田理事長、桑田常務理事

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

最高3000万円の保障（無診査）が70才まで新設されました

保険金額の増減は毎年自由に変更できます

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます

② 最高75歳まで継続更新可能

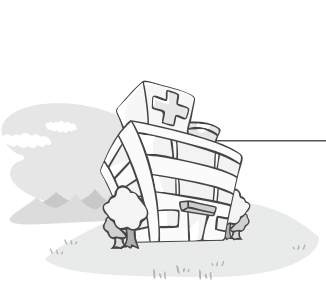
③ 障害給付金･高度障害保険金も準備されます

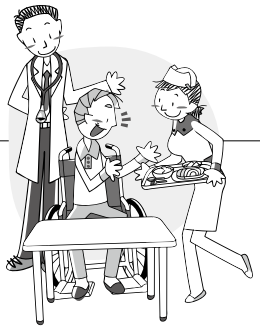
35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格で プラスできます！





① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 1入院60日限度　通算1,000日分まで保障

本人プランは入院1日15,000円まで保障

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者･お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：奥村　TEL096-343-8020

PREMIST
大江ザ・レジデンス
OE THE RESIDENCE

熊本県歯科医師会会員の皆様へ

ダイワハウス分譲マンション「プレミスト大江ザ・レジデンス」のご案内

熊本地震で被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。新生活を応援します。

外観（平成28年8月撮影）

「プレミスト大江ザ・レジデンス」共通物件概要●物件名称／プレミスト大江ザ・レジデンス●所在地／熊本県熊本市中央区大江3丁目1番10（地番）●交通／九州産交バス「大江渡鹿」バス停徒歩1分、熊本市電「九品寺交差点」電停徒歩11分●用途地域／近隣商業地域・第2種住居地域●地目／宅地●建ぺい率／64.67%●容積率／223.31%●敷地面積／6,910.78㎡●建築面積／3,345.19㎡●建築延床面積／19,685.64㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）・地上14階建●建築確認番号／第BVJ-S14-10-0203号（平成26年6月27日）●総戸数／182戸（別途、グランスイート1戸・コミュニティプラザ1戸・管理事務室1戸）●駐車場／53台（平面式1台・自走式52台）（月額使用料：5,500円～14,000円）、別途来客用駐車場2台●自転車置場／121台（平面式5台・ラック式116台(月額使用料：100円～400円）、別途来客用自転車置場スペース）●バイク置場／9台（月額使用料：700円～1,000円）●分譲後の権利形態／土地：各専有面積割合による敷地利用権（所有権）の共有、建物：<専有部分>区分所有権、<共用部分>各戸専有面積割合による共有●管理形態／入居後、管理組合を設立していただき、組合と大和ライフネクスト株式会社との間で管理委託契約を締結していただきます。●建物竣工予定／平成28年1月完成済●入居予定／即入居可●事業主・売主／大和ハウス工業株式会社福岡支社マンション事業部●販売代理／エース不動産株式会社 九州営業所福岡県 福岡市博多区博多駅前2丁目19番17号トーカン博多ビル5階 〒812-0011 TEL 092-433-1789 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(2)第8045号、(公社)福岡県宅地建物取引業協会会員、(公社)東京都宅地建物取引業協会会員、(公社)全国宅地建物取引業保証協会会員●管理会社／大和ライフネクスト株式会社熊本支店●設計・監理／株式会社鴻池組大阪本店一級建築士事務所●施工／株式会社鴻池組九州支店
【第1期～第3期先着順物件概要】●販売戸数／33戸●販売価格（税込）／3,300万円（4戸）～10,000万円（1戸）●最多販売価格帯／3,300万円台4戸●間取り／2LDK・2LDK+S（納戸）・3LDK・4LDK●専有面積／69.20㎡～137.59㎡（トランクルーム面積0.40㎡・0.45㎡・0.46㎡含む）●バルコニー面積／12.50㎡～60.76㎡●アルコーブ面積／3.42㎡～6.05㎡●管理費（月額）／7,270円～14,450円●修繕積立金（月額）／6,230円～12,380円●インターネット使用料（月額）／1,296円●管理準備金（一括）／7,270円～14,450円●修繕積立基金（一括）／436,100円～866,600円●312号室は平成28年3月よりモデルルームとして使用しております。●先着順申込受付場所／大江レジデンスサロン●お申込の際は、認印、本人確認書類（運転免許証等）、収入証明資料（給与所得者の場合は平成26年・27年分の源泉徴収票、確定申告をされている方は過去3年分の確定申告書）が必要です。●建物内モデルルーム615号室、707号室、909号室、1110号室は今回販売対象住戸ではございません。●広告制作年月日／平成28年12月1日●取引条件有効期限／平成29年1月31日※最新の概要につきましては公式サイトでご確認ください。

〈お客様の個人情報の利用目的について〉弊社は個人情報保護法を遵守し、弊社または弊社グループ企業が行う次の事業【※】に関するご案内・ご提案、契約の締結・履行、アフターサービスの実施、お客様への連絡・通信、新しい商品・サービスの開発、およびお客様に有益と思われる情報の提供などのために、お客様の個人情報を利用させていただきます。【※】住宅、リフォーム、集合住宅、マンション、商業店舗開発、建築、不動産分譲、不動産仲介、環境・エネルギー、損害保険代理店、ホテル、インテリアなどの各事業

建物内モデルルーム公開中

受　付	大江レジデンスサロン（プレミスト大江ザ・レジデンス202号室） 熊本市中央区大江3丁目1-72 ※駐車場をご用意しております。

事前にお電話又はWebにてご予約いただきますとご案内がスムーズです。

カーナビアドレス ▶ 熊本市中央区大江3丁目1-72

※掲載地図は略図であり実際とは多少異なる場合があります。省略された道路・施設がありますので予めご了承下さい。

Daiwa House®
大和ハウスグループ

〈事業主・売主〉
大和ハウス工業株式会社　福岡支社 マンション事業部
福岡市博多区上牟田2丁目11番24号 〒812-0006 Tel 092-473-5160 Fax 092-473-5158
建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-27)第5279号 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(14)第245号
(公社)福岡県宅地建物取引業協会会員／(一社)不動産協会会員／(一社)日本木造住宅産業協会会員／(一社)日本ツーバイフォー建築協会会員／(一社)プレハブ建築協会会員／(一社)九州不動産公正取引協議会加盟
www.daiwahouse.co.jp

大江レジデンスサロン
0120-855-520
営業時間／10:00～19:00 定休日／火曜日・水曜日（祝日除く）
ダイワ 大江 検索 http://dhms.jp/oe/

熊本県歯科医師会会員の皆様へ

ダイワハウス分譲マンション「プレミスト大江本町」のご案内

熊本地震で被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。新生活を応援します。

PREMIST
大江本町
OE-HONMACHI

エントランスホール（平成27年10月撮影）

建物内モデルルーム公開中／即入居可

［Atype/201号室］

□販売価格（税込）
住戸専有面積 76.95㎡ / 2,980万円

「プレミスト大江本町」共通物件概要●物件名称／プレミスト大江本町●所在地／熊本県熊本市中央区大江本町6番5（地番）●交通／熊本市電「味噌天神前」電停徒歩1分、JR豊肥本線「新水前寺」駅徒歩5分●用途地域／商業地域●地目／宅地●建ぺい率／80%●容積率／400%●敷地面積／984.24㎡●建築面積／636.70㎡●建築延床面積／5366.81㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上11階建●建築確認番号／第EKI14020554号（平成26年6月19日）●総戸数／50戸（別途、管理事務室1戸）●駐車場／43台（平面4区画*内、1区画は縦列2台・タワーパーキング38台／月額使用料：10,000円～32,000円）●自転車置場／46台（平面5台・ラック式41台／月額使用料：200円～400円）●バイク置場／7台（月額使用料：2,000円）●分譲後の権利形態／土地：各戸専有面積割合による敷地利用権（所有権）の共有、建物：<専有部分>区分所有権<共有部分>各戸専有面積割合による共有●管理形態／入居後、区分所有者全員により管理組合を設立していただき、組合と大和ライフネクスト株式会社との間で管理委託契約を締結していただきます。●建物竣工予定／平成27年10月完成済●入居予定／即入居可●事業主・売主／大和ハウス工業株式会社福岡支社マンション事業部●販売代理／株式会社T・フィールド 〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜2丁目3番6号・8F TEL.092-716-7835 宅地建物取引業者免許番号：福岡県知事(3)第14849号（公社）福岡県宅地建物取引協議会会員●管理会社／大和ライフネクスト株式会社熊本支店●設計・監理／株式会社H.R.Sプランニング●施工／西松建設株式会社九州支社

【第1期～第1期3次物件概要】●販売戸数／10戸●販売価格（税込）／2,980万円（1戸）～4,380万円（1戸）●最多販売価格帯／3,500万円台（4戸）●間取り／3LDK・4LDK●専有面積／71.87㎡～89.58㎡●バルコニー面積／12.50㎡～17.34㎡●サービスバルコニー面積／1.53㎡●アルコーブ面積／2.93㎡～7.66㎡●管理費（月額）／10,420円～12,990円●修繕積立金（月額）／7,190円～8,960円●インターネット使用料（月額）／1,296円●管理準備金（引渡時一括払い）／20,840円～25,980円●修繕積立基金（引渡時一括払い）／553,630円～689,920円●501号室は平成28年11月より建物内モデルルームとして使用しております。●先着順申込受付場所／プレミスト大江本町レジデンスサロン※先着順につき、売約済みの場合がございます。予めご了承ください。●お申込の際は、認印、本人確認書類（運転免許証等）、収入証明資料（給与所得者の場合は平成26年・27年分の源泉徴収票、確定申告をされている方は過去3年分の確定申告書）が必要です。●402号室・503号室は今回販売対象ではございません。●広告制作日／平成28年12月3日●取引条件有効期限／平成29年1月31日※最新の概要につきましては公式サイトでご確認ください。

THE 3WAY ACCESS 「市電」、「バス」、「JR」が使いこなせる立地。

熊本市電「味噌天神前」電停
徒歩1分（約50m）

九州産交バス「味噌天神」バス停
徒歩1分（約80m）

JR「新水前寺」駅
徒歩5分（約370m）

※地図は略図につき実際とは多少異なる場合があります。

Daiwa House
大和ハウスグループ

（事業主・売主）
大和ハウス工業株式会社 福岡支社 マンション事業部
福岡市博多区上牟田2丁目11番24号 〒812-0006 Tel 092-473-5160 Fax 092-473-5158
建設業許可番号：国土交通大臣許可（般-27）第5270号 宅地建物取引業者免許番号：国土交通大臣（14）第245号
（公社）福岡県宅地建物取引業協会会員／（一社）不動産協会会員／（一社）日本木造住宅産業協会会員／（一社）日本ツーバイフォー建築協会会員／（一社）プレハブ建築協会会員／（一社）九州不動産公正取引協議会加盟
www.daiwahouse.co.jp

プレミスト大江本町レジデンスサロン
0120-831-832
営業時間／10:00～19:00 定休日／火曜日・水曜日（祝日除く）
ダイワ 大江本町 検索 http://jhm.jp/oe-honmachi/

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
January 2017 No.727

笑顔ヘルC 8020運動からはじめる

2 主な行事予定 February

1日(水)	第38回常務理事会
2日(木)	回復期病診連携研修会
4日(土)	第２回各郡市会長・専務理事連絡会議
11日(土)	介護者歯科実技研修会（人吉会場）
12日(日)	介護者歯科実技研修会（八代会場）
15日(水)	第39回常務理事会
19日(日)	認知症対応力向上研修会
22日(水)	第22回理事会
25日(土)	回復期病診連携研修会、認知症対応力向上研修会

©2010 熊本県くまモン #K6356

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

昨年は思いもよらない大地震に見舞われ大変な年でした。今も震災の影響が続いている方もおられます。一日も早く元の生活と心の安寧を取り戻されるよう心より願っています。震災の爪痕はまだ深く残っていますが、新しい年を迎えました。

今年は酉年ということで、十二支のお話しをひとつ。

お正月に神様のところへ挨拶に行くことになった十二匹の動物たちがいました。道中、牛の背中に乗ったちゃっかりもののねずみは、神様の家の門前で飛び降り、一番先に神様にご挨拶。十二支の一番目はねずみ年となりました。猿と犬の喧嘩を仲裁した鳥は、猿と犬に挟まれた順番となったのだそうです。酉年生まれの年男、年女の先生は、犬猿の仲を取り持ったりしたこと…ありませんか？

さて、今月より会報誌では、リレー投稿が始まります。もっと会報誌に興味をもってもらえるように、竹下理事が考案した企画です。記事を書いた先生は、来月号に書く先生を指名して、リレー方式で進めていきます。この企画の成功は、会員の先生方のご協力にかかっております。指名されたら、どうか先生の文才を遺憾なく発揮されて下さい。どうぞよろしくお願い致します。 (N・Y)

■発行日／2017年1月5日発行 ■発行人／浦田 健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020 FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷